

第42期中間決算IR資料

平成20年9月期

(平成19年10月1日～平成20年3月31日)

- | | |
|------------|------|
| (1) 決算概要 | p. 1 |
| (2) 業界について | p. 5 |
| (3) 当社について | p. 8 |

平成20年6月30日

決算概要

■ 損益計算書 ■



(単位:百万円)

	平成19年9月期(中間)			平成20年9月期(中間)		
	2006年10月～2007年3月			2007年10月～2008年3月		
	実績	百分比	前期比	実績	百分比	前期比
売上高	7,696	100.0%	108.3%	7,858	100.0%	102.1%
売上総利益	3,114	40.5%	112.7%	2,979	37.9%	95.7%
営業利益	1,005	13.1%	125.6%	784	10.0%	78.0%
経常利益	983	12.8%	126.0%	755	9.6%	76.8%
税引前中間純利益	987	12.8%	126.9%	752	9.6%	76.2%
法人税、住民税及び事業税	14	0.2%	107.4%	15	0.2%	111.2%
法人税等調整額	▲1,687	▲21.9%	367.0%	351	4.5%	—
中間純利益	2,660	34.6%	217.3%	384	4.9%	14.5%

(増減内訳)

- 売上高 賃貸収入は、改正建築基準法による着工遅れの影響で、前年同期比97%となりましたが、商品売上は、中古建設機械の販売が好調に推移し、前年同期比131%となりました。
- 売上総利益 積極的に貸与資産の購入を進めたことにより原価が増加したことと主力のレンタル収入が計画を下回ったため、粗利益率は低下しました。
- 営業利益・経常利益 販管費は、新規出店に伴う費用、人員増による人件費が増え、前年同期比104%となり、営業外費用は、有利子負債の借り換えにより金利負担は軽減したものの、社債発行による費用が発生したため、前年同期比114%となりました。
- 中間純利益 営業利益・経常利益については、粗利益の減少に加えて、業容拡大と財務体質の強化により、前年同期を下回りました。当中間会計期間より法人税等に見合う調整額を繰延税金資産より振替し、本来の損益計算書に表示されるべき額を計上しております。

■ 貸借対照表 ■



(単位:百万円)

	平成19年9月期		平成20年9月期(中間)		比較増減 金額
	2007年9月末現在		2008年3月末現在		
	金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)					
I. 流動資産	7,465	49.5%	7,405	49.2%	▲ 59
II. 固定資産	7,621	50.5%	7,648	50.8%	27
1. 有形固定資産	5,617	37.2%	5,986	39.8%	369
2. 無形固定資産	8	0.1%	7	0.0%	▲ 1
3. 投資その他の資産	1,996	13.2%	1,655	11.0%	▲ 340
資産合計	15,087	100.0%	15,054	100.0%	▲ 32

	平成19年9月期		平成20年9月期(中間)		比較増減 金額
	2007年9月末現在		2008年3月末現在		
	金額	構成比	金額	構成比	
(負債の部)					
I. 流動負債	6,041	40.1%	4,723	31.4%	▲ 1,318
II. 固定負債	1,148	7.6%	2,490	16.5%	1,342
負債合計	7,189	47.7%	7,214	47.9%	24
(純資産の部)					
I. 資本金	1,167	7.7%	1,167	7.8%	0
II. 資本 剰余金	1,222	8.1%	1,222	8.1%	0
III. 利益 剰余金	5,510	36.5%	5,456	36.2%	▲ 54
IV. その他	▲ 2	▲ 0.0%	▲ 6	▲ 0.0%	▲ 3
純資産合計	7,897	52.3%	7,840	52.1%	▲ 57
負債・純資産合計	15,087	100.0%	15,054	100.0%	▲ 32
有利子負債	3,500	23.2%	3,190	21.2%	▲ 310

(増減内訳)

流動資産	現預金の減少	△ 637 配当金の支払と有利子負債の削減により減少しました。
	売掛金の増加	714 売上高増と手形回収から期日振込による回収が増えたために増加しました。
	商品の減少	△ 89 中古建設機械の販売が増え、在庫減少につながりました。
固定資産	貸与資産の増加	147 レンタル用機械の拡充を進めたため、増加しました。
	社用資産の増加	221 名古屋(営)新設と既存営業所設備の充実に伴う増加であります。
	繰延税金資産の減少	△ 345 当中間会計期間より法人税等に見合う調整額を振替たため、減少しました。
流動負債	設備未払金の増加	260 貸与資産の購入増と営業所設備の新設・充実により増加しました。
	有利子負債の減少	△ 1,650 期限到来の借入金返済、約定による借入返済・社債償還であります。
固定負債	有利子負債の増加	1,340 借り換えによる借入金実行と社債発行であります。

■ キャッシュ・フロー計算書 ■



(単位：百万円)

	平成19年9月期(中間)	平成20年9月期(中間)
	2006年10月～2007年3月	2007年10月～2008年3月
	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,077	175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 63	△ 47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 972	△ 765
現金及び現金同等物の 中間期末残高	1,380	1,380

(当期の状況)

営業活動CF 仕入債務、減価償却費の増加があったものの、貸与資産の購入を進めたことによる支出、売上債権の増加等があり、微増となりました。

投資活動CF 営業所設備の充実に伴う有形固定資産の取得による支出であります。

財務活動CF 配当金の支払、有利子負債の削減による支出であります。

業界について

建設業界の概況

- ・ 建設業界では、公共投資の減少や価格競争に加え、改正建築基準法の影響による着工の遅れがあり厳しい状況が予想されます。

民間土木、鉄道関連等をターゲットに展開

- ・ 民間土木工事向けレンタルや、鉄道関連の地下化、連続立体化、複々線化工事向けレンタルを中心に営業展開。

道路工事関連は堅調に推移

- ・ 道路関連工事も首都高速品川線着工の他、東京外郭環状道路、首都圏中央連絡自動車道や、関西では第二京阪道路工事向けレンタル等、堅調に推移。

■同業(上場会社)マンパワー指標■



株式市場名	決算月	会社名	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	従業員数 (名)	マンパワー 売上高 (百万円)	マンパワー 売上 順位	マンパワー 経常利益 (百万円)	マンパワー 経常利益 順位	売上高 経常 利益率	売上高 経常 利益率 順位
大証一部	9月	西尾レントオール(株)	55,152	5,532	3,188	1,277	43.2	3	4.33	2	10.0%	1
ジャスダック	9月	サ コ ス (株)	14,510	1,317	2,787	393	36.9	5	3.35	4	9.1%	2
大証一部	2月	(株) ワ キ タ	53,656	3,876	2,248	394	136.2	1	9.84	1	7.2%	3
東証一部	10月	(株) カ ナ モ ト	61,576	4,372	3,431	1,242	49.6	2	3.52	3	7.1%	4
未上場	1月	(株) レンタルのニッケン	69,754	4,807	2,477	2,509	27.8	9	1.92	6	6.9%	5
未上場	5月	太陽建機レンタル(株)	43,320	2,336	1,302	1,209	35.8	7	1.93	5	5.4%	6
未上場	12月	(株) ア ク テ ィ オ	94,619	3,234	168	2,610	36.3	6	1.24	8	3.4%	7
東証二部	3月	(株) 共 成 レ ン テ ム	15,866	523	225	400	39.7	4	1.31	7	3.3%	8
ジャスダック	12月	(株) ニ ッ パ ン レ ン タ ル	6,717	159	-14	210	32.0	8	0.76	9	2.4%	9

※各社については、2008年または2007年の決算短信もしくは各種調査資料により推計した数値であります。
 () 内の数値は建機レンタル関係の売上高として公表されている数値の推計であります。

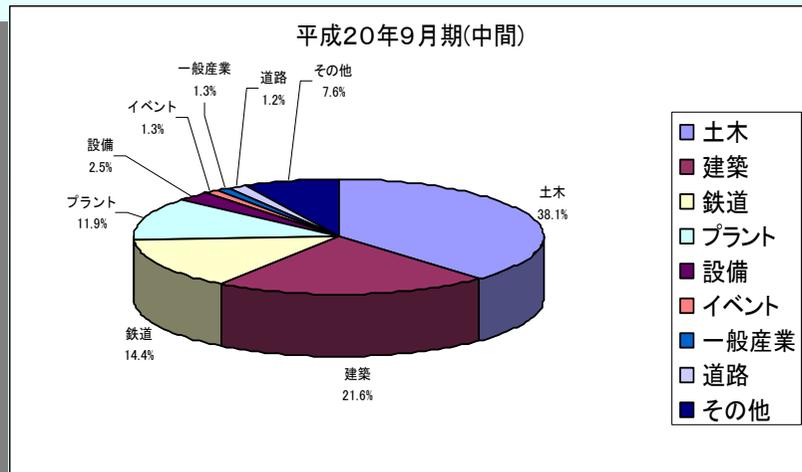
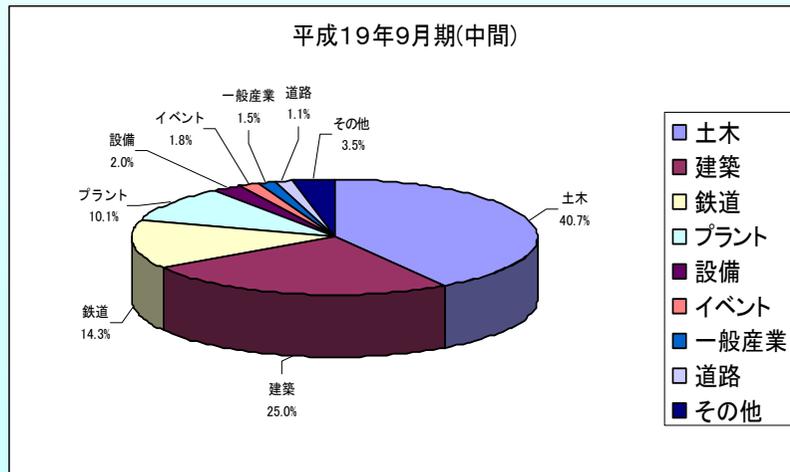
当社について

■売上種別構成比■



		平成19年9月期(中間)	
		売上高(百万円)	売上高構成比
土	木	3,130	40.7%
建	築	1,926	25.0%
鉄	道	1,101	14.3%
プ	ラ	774	10.1%
設	ン	157	2.0%
イ	ト	141	1.8%
一	般	113	1.5%
道	産	88	1.1%
そ	業	266	3.5%
合	路	7,696	100.0%
	の		
	他		
	計		

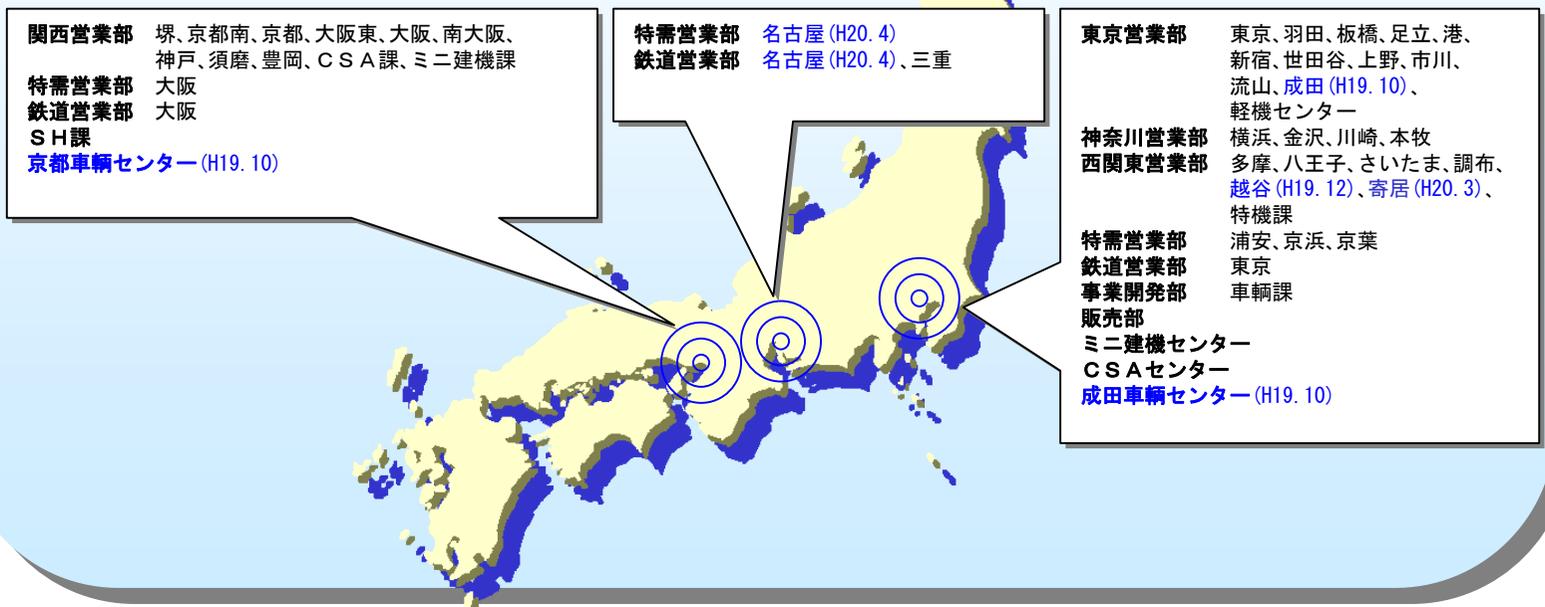
		平成20年9月期(中間)	
		売上高(百万円)	売上高構成比
土	木	2,996	38.1%
建	築	1,696	21.6%
鉄	道	1,135	14.4%
プ	ラ	934	11.9%
設	ン	198	2.5%
イ	ト	103	1.3%
一	般	101	1.3%
道	産	96	1.2%
そ	業	599	7.6%
合	路	7,858	100.0%
	の		
	他		
	計		



エリア戦略

特需営業部名古屋営業所、鉄道営業部名古屋営業所の出店で、中部エリアへ本格的に進出を果たし、これをもちまして関東・中部・関西の三大都市圏のラインを結ぶことができました。今後は各都市部における店舗網の拡大に努めて参ります。

新設の店舗については毎年2店舗以上の出店を考えております。



※平成20年9月期出店 5店舗 2センター

平成20年9月期に出店した5店舗



成田出張所(H19.10.1オープン)



越谷営業所(H19.12.19オープン)



寄居出張所(H20.3.6オープン)



特需営業部名古屋営業所(H20.4.14オープン)



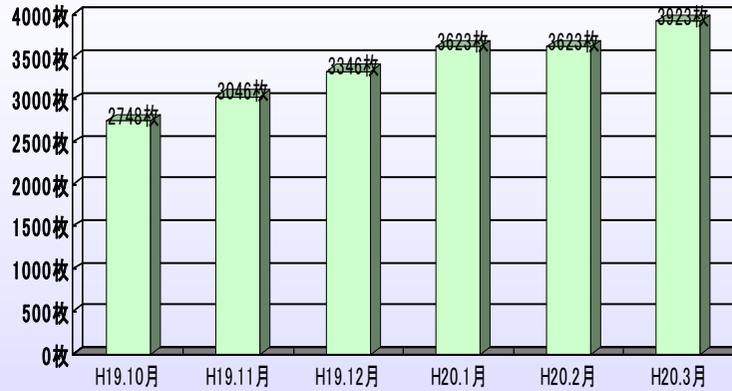
鉄道営業部名古屋営業所(H20.4.14オープン)

トピックス

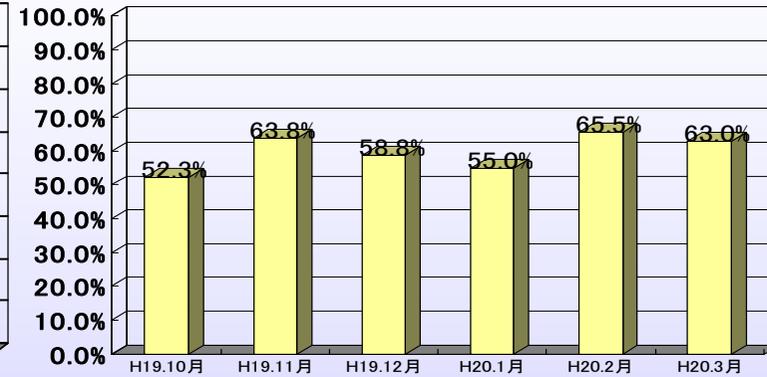
ノイズソーバー

当社のオリジナル商品で大ヒット商品となっておりますノイズソーバーは、吸音性・遮音性に優れた商品であり、建設現場における騒音対策として高い評価を得ております。保有数・稼働率とも順調に伸びており、今後も増強して参ります。

保有枚数



稼働率



※平成20年5月現在は、5,000枚保有しております。

■ 当社基本データ ■



商 号	サコス株式会社 (SACOS CORPORATION)
本社所在地	〒141-0022 東京都品川区東五反田4-5-3
設 立	昭和42年(西暦1967年)9月8日
資 本 金	11億6755万1500円(平成20年5月31日現在)
発行済株式総数	8773万3362株(平成20年5月31日現在)
主な事業内容	1. 機械・機器のレンタル 2. 機械・機器等の販売
役員 取締役会長	西尾 公志 (ニシオ マサシ)
代表取締役社長	中田 信二 (ナカダ シンジ)
常務取締役	瀬尾 伸一 (セオ シンイチ)
取 締 役	原田 英雄 (ハラダ ヒデオ)
取 締 役	石川 忠 (イシカワ タダシ)
取 締 役	外村 圭弘 (トノムラ ヨシヒロ)
常勤監査役	大窪 隆 (オオクボ タカシ)
監 査 役	新田 一三 (ニッタ カズソウ)
監 査 役	真田 重弘 (サナダ シゲヒロ)

サコス株式会社

<http://www.sacos.co.jp>